概要版

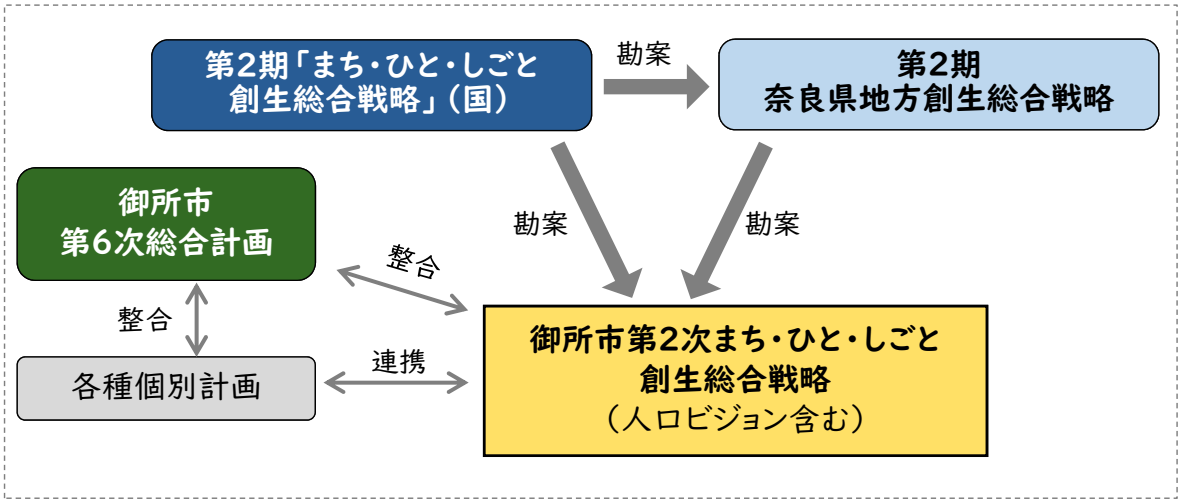
御所市第２次
まち・ひと・しごと創生
総合戦略

令和2年度 ▶▶▶ 令和6年度

令和２年３月
御　所　市

1 計画の位置づけ

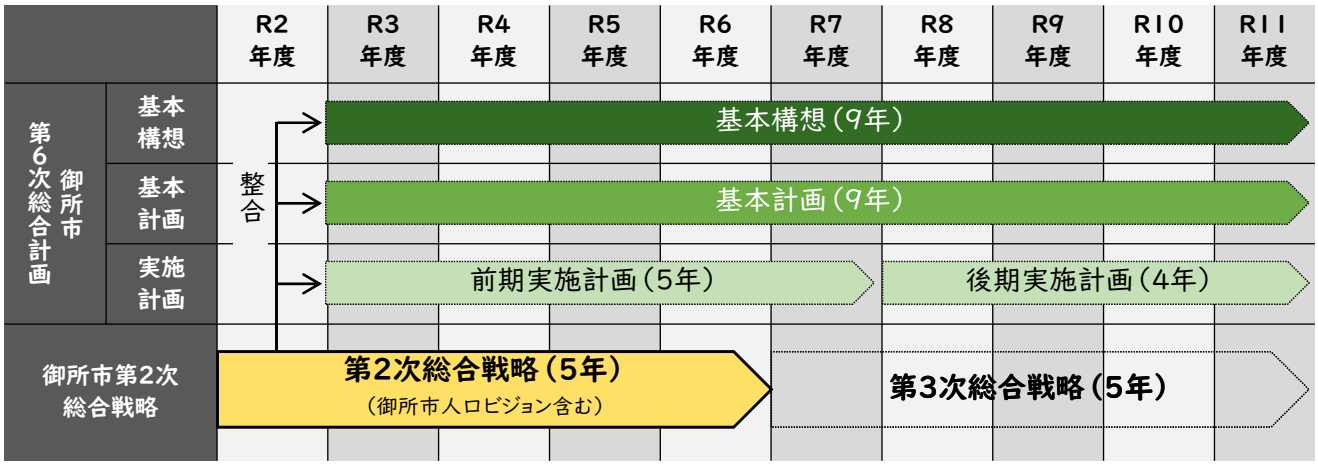
御所市第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「御所市第2次総合戦略」という。）は、国が定めた『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）』及び『第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」』、並びに『奈良県人口ビジョン』、『第2期「奈良県地方創生総合戦略」』を勘案し、本市の人口の将来展望等（御所市人口ビジョン）や地方創生に向けた基本目標及び施策の基本的方向、具体的な施策等（御所市第2次総合戦略）をまとめたものです。



図：総合計画や個別計画との関係性

2 計画期間

計画期間は、2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）までの5年間とします。



図：総合戦略等の計画期間

3 SDGs（持続可能な開発目標）との一体的な推進

「SDGs」は、2015年9月に国連サミットにおいて採択された目標であり、2030年に向けて全ての国に適用される普遍的な17の目標です。

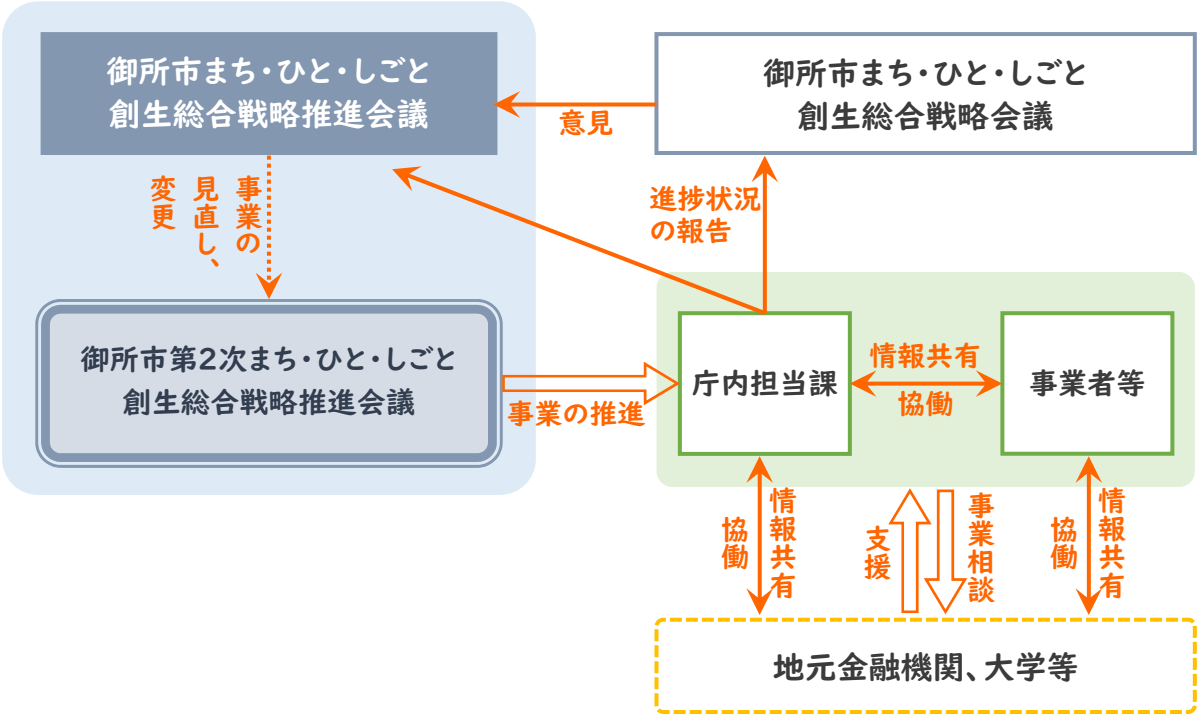
SDGsの理念は、本市の施策を進めていく上でも重要な観点であるため、御所市第2次総合戦略においては、SDGsの理念を踏まえながら各取組を推進し、「持続可能なまちづくり」と「地域活性化」の実現を目指します。そのため、施策パッケージとSDGsの17のゴールとの関連性を整理し、施策体系にまとめることとします。

図：SDGsの17のゴール

4 推進体制

御所市第2次総合戦略は、計画期間内において確実な成果をあげるため、状況の変化に応じて柔軟に事業内容を見直し、関係する全ての主体がそれぞれの役割を発揮しながら取組を進めていく必要があります。

そこで、行政と事業者等とが、協働によりPDCAサイクルを実践することが可能となるよう、各担当課が進捗状況を有識者や住民によって構成される**「御所市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」**及び庁内で設置した**「御所市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」**に報告します。

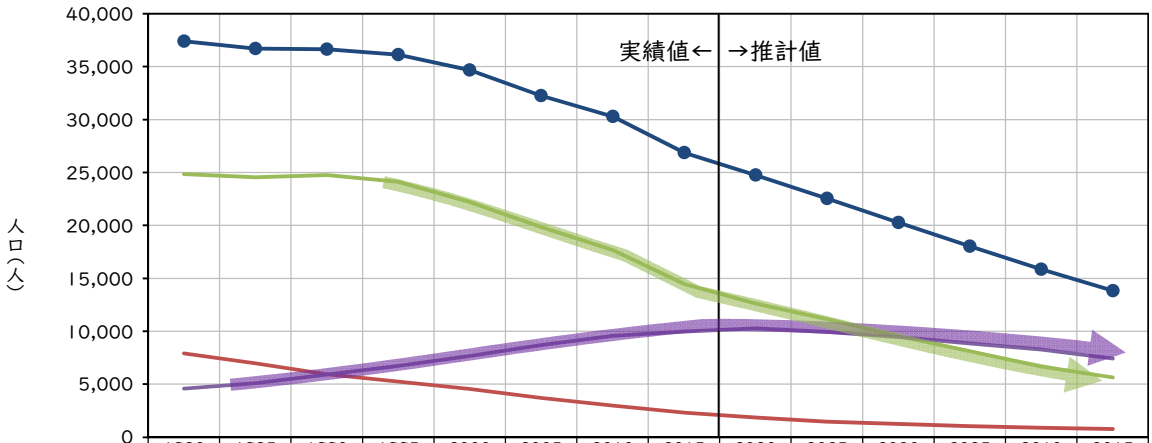


図：推進体制

5 御所市の現況（御所市人口ビジョン）

①年齢3階層別・人口

○ 65歳以上の**老年人口**が急速に増加を続けてきましたが、2015年ごろに緩やかな増加となり、2020年ごろには微減に転じると見込まれています。
○ 15～64歳の**生産年齢人口**の推移は、総人口と同様の傾向を示しており、**今後も減少が続く**と見込まれています。
○ 15歳未満の**年少人口**は、一貫して減少を続けており、**今後も緩やかに減少が続く**と見込まれています。



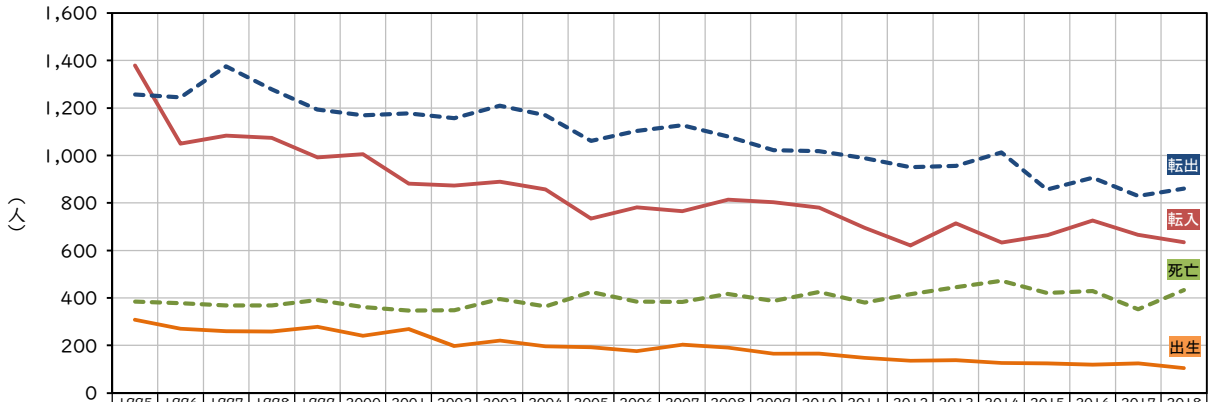
	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
総人口	37,387	36,693	36,644	36,119	34,676	32,273	30,287	26,868	24,772	22,548	20,274	18,042	15,864	13,830
15歳未満	7,918	6,981	5,939	5,248	4,575	3,718	2,999	2,337	1,859	1,468	1,252	1,061	908	766
15～64歳	24,851	24,552	24,771	24,120	22,218	19,866	17,695	14,471	12,638	11,140	9,550	8,115	6,675	5,646
65歳以上	4,604	5,112	5,921	6,742	7,690	8,689	9,593	9,976	10,275	9,940	9,472	8,866	8,281	7,418

図：年齢3階層別人口の推移（1980年→2045年）

※総人口は年齢不詳を含むため、年齢3階層の合計と一致しない場合がある。
（出典）実績値：総務省「国勢調査」、推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

②出生・死亡数、転入・転出数の推移

○ 死亡数が出生数を上回る**「自然減」**かつ、転出数が転入数を上回る**「社会減」**の状況が続いています。



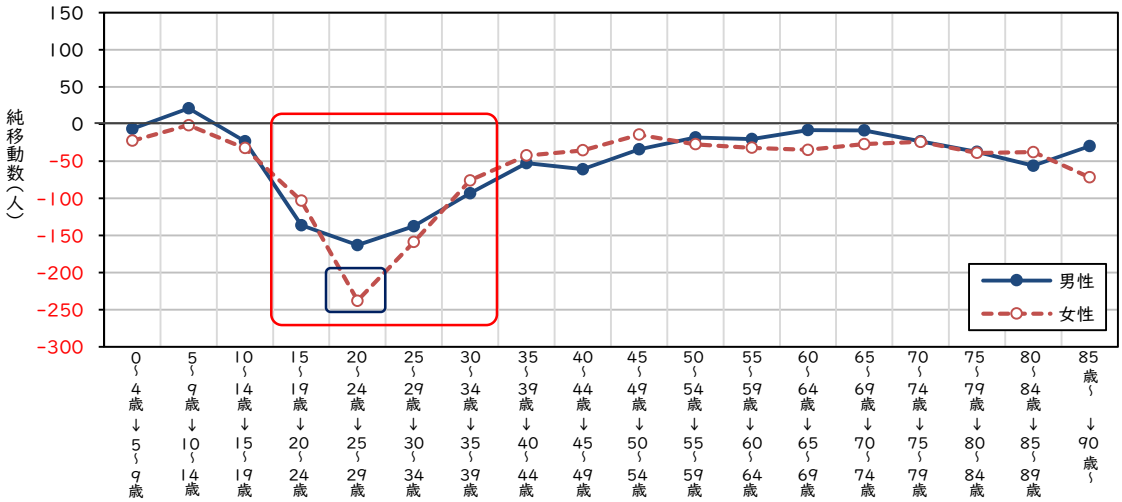
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
出生	308	271	260	259	279	241	269	198	221	196	193	177	203	191	166	166	148	136	139	127	125	120	125	105
死亡	385	378	368	369	391	362	347	348	395	364	425	384	383	417	388	425	380	415	445	472	421	429	352	433
転入	1,379	1,050	1,084	1,074	992	1,006	881	874	889	857	735	782	766	814	803	781	695	621	714	634	664	727	666	635
転出	1,257	1,245	1,376	1,279	1,194	1,170	1,177	1,157	1,210	1,170	1,062	1,103	1,127	1,080	1,022	1,019	989	951	956	1,013	857	907	829	861

図：出生・死亡数、転入・転出数の推移（1995年→2018年）

（出典）総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

③男女別・年齢階級別 人口移動の状況

○ **「15～19歳→20～24歳」から「30～34歳→35～39歳」にかけての4つの年齢階級の減少が顕著**となっており、進学や就職、結婚等の機会での転出が要因であると推測されます。
○ 男女別では、女性の**「20～24歳→25～29歳」**での減少が際立っています。

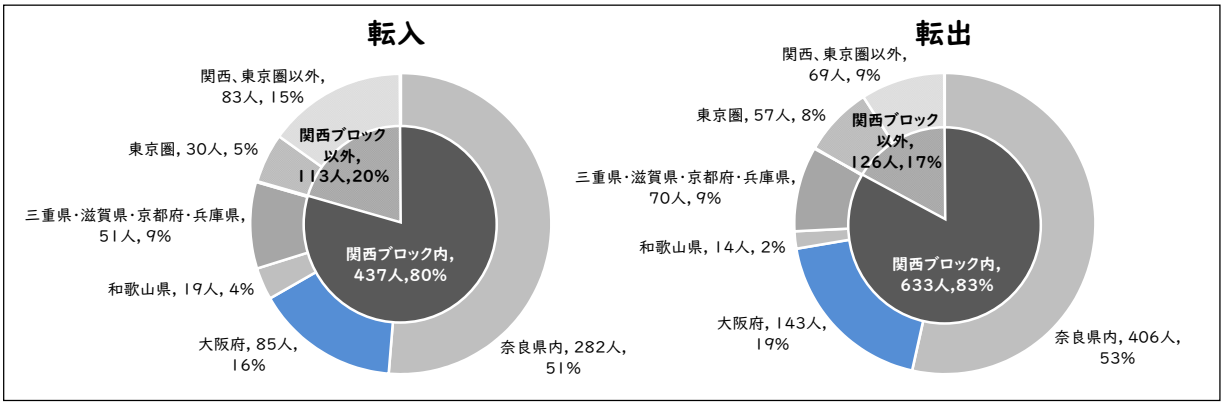


図：近年の年齢階層別人口の移動（2010年→2015年）

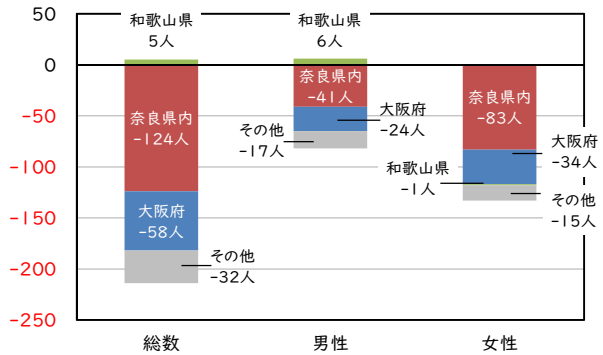
（出典）総務省「国勢調査」並びに「住民基本台帳人口移動報告」

④地域別に見た転入・転出の状況

○ 転入は、奈良県内で51%、大阪府で16%となっており、転出は、奈良県内で53%、大阪府で19%となっています。転入・転出ともに**関西ブロック内（三重県を含む）において約80%**を占めています。
○ 関西ブロック以外では、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からの転入が5%、転出が8%を占めています。
○ **男女ともに奈良県内、大阪府への転出者が多く**なっており、特に**女性の転出超過が顕著**となっています。



図：広域的な移動の状況（2018年）



図：男女別・地域別の純移動［転入-転出］（2018年）

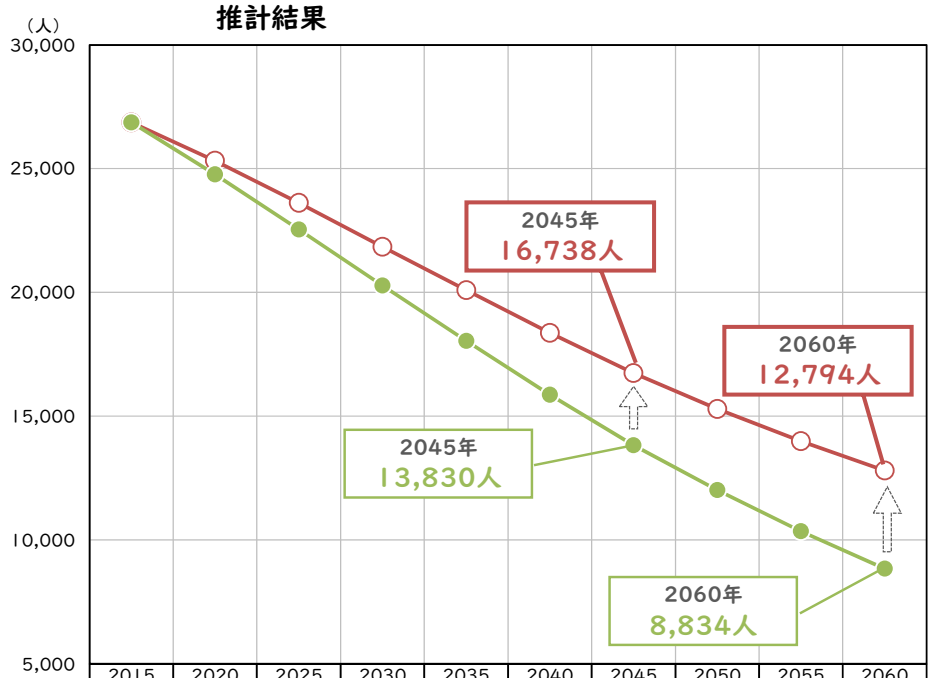
（出典）総務省「住民基本台帳人口移動報告」

6 目指すべき人口の将来展望

①人口の将来展望

出生率の向上施策及び転出抑制策等により、
2045年に人口約1万7千人、**2060年に約1万3千人**を目指します。

※社人研推計準拠値：2045年：約1万4千人、2060年：約9千人



	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
御所市の人口の将来展望	26,868	25,317	23,612	21,837	20,086	18,364	16,738	15,288	13,986	12,794
社人研推計準拠（何も施策を展開しなかった場合）	26,868	24,772	22,548	20,274	18,042	15,864	13,830	12,013	10,351	8,834

【人口推計の考え方】

(1)合計特殊出生率仮定値の設定
子どもを産み育てる施策の展開により、奈良県が前回の人口ビジョン算出時に設定した市人口の将来展望における仮定値を達成すると仮定します。

合計特殊出生率仮定値（奈良県設定：御所市の値）

2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
1.20	1.30	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80	1.90	2.07	2.07

(2)社会移動数の設定
転出抑制策の展開により、転出者数が半減するものと仮定します。
※転出者数は2018年実績から、社会減の約3倍の値（社会減247人に対し、転出者数861人）相当とし、各年の社人研の推計人口値を男女別・年齢別人口割合で按分し算出しました。

7 御所市の人口動向に関する課題

御所市人口ビジョンから、御所市の人口動向等に関する課題を以下のとおり整理します。

項 目	現 状	課 題
人口推移予測	○ 総人口は1980年の3.7万人から一貫して右肩下がりに減少しています。 ○ 将来推計人口は、第1次総合戦略策定時の推計よりもさらに減少が進行しており、2045年には1.4万人になると予測されます。	・人口減少を食い止めることが必要
	○ 生産年齢人口は、今後さらに減少し、超高齢化へ移行すると予測されます。 ○ 2040年には高齢化率（65歳以上人口の割合）は50%を超えると予測されます。	・生産年齢人口の確保が必要 ・少子高齢化への適応が必要
自然増減	○ 死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続いてきましたが、近年では少子高齢化の影響により、さらに減少の割合が増大しています。	・出生数の確保が必要
社会増減	○ 10代後半から30代後半（特に女性）の転出が顕著となっており、進学や就職、結婚等の機会での転出が要因と推測されます。	・若年層の市外流出を食い止めることが必要
	○ 地域別でみると、五條市をはじめ吉野エリアからの転入が多く、また、葛城市や橿原市等の北西部・中部エリアへの転出が多くなっています。（近隣の利便性の高い市町村への転出が多い。）	・御所市の利便性を向上することが必要
結婚・出産	○ 全国的に晩産化の傾向が指摘されているなか、御所市においては、2014年までは29歳以下の出生割合が高い水準で維持されていましたが、2015年以降の出生割合は全国の出生割合に近づいている状況となっています。	・若年層を市内にとどめ、出生数を確保することが必要
空き家数	○ 空き家数は増加傾向にあり、空き家率（住宅総数に占める空き家数の割合）は、周辺市町村※で五條市、大和高田市に次いで3番目に高い状況となっています。	・空き家の有効活用が必要
交流人口	○ 主要観光施設の入込客数は近年減少傾向となっています。 ○ 入込客数のうち、5月のつつじシーズンに訪れている人が大部分を占めており、季節によって偏りがあります。	・インバウンドを捉え、交流人口の拡大が必要
雇用・就業	○ 御所市では特に女性の労働力率が低く、市内事業所数も少ない状況です。	・働く場所の創出が必要
	○ 産業別の就業状況では、特に農業、林業従事者の高齢化が進んでいます。（60歳以上が7割） ○ 耕作放棄地面積は、周辺市町村※で宇陀市、葛城市に次いで3番目に多い状況となっています。	・農業の担い手確保が必要 ・耕作放棄地の活用が必要

※周辺市町村：大和高田市、橿原市、五條市、香芝市、葛城市、宇陀市

8 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標

国が策定した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、以下の4つの基本目標と2つの横断目標を設定しています。これらの国の目標や奈良県の第2期総合戦略の基本目標等を踏まえ、御所市における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指します。

基本目標1 ： 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

○地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現　○安心して働ける環境の実現

基本目標2 ： 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

○地方への移住・定着の推進　○地方とのつながりの構築

基本目標3 ： 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

基本目標4 ： ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

○活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

横断的な目標1 ： 多様な人材の活躍を推進する

○多様なひとびとの活躍による地方創生の推進　○誰もが活躍する地域社会の推進

横断的な目標2 ： 新しい時代の流れを力にする

○地域におけるSociety5.0の推進　○地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

9 御所市第2次総合戦略の基本目標

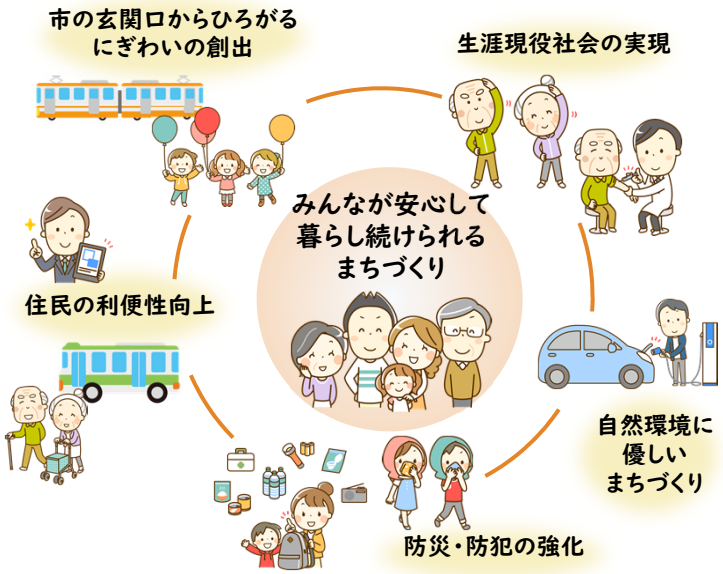
御所市の人口動向に関する課題及び国の示した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標等を踏まえ、「御所市第2次総合戦略」の基本目標やシナリオ、数値目標を次のとおり設定します。

基本目標1 みんなが安心して暮らし続けられるまちづくり

■ シナリオ

◎ 市の玄関口である駅周辺のにぎわい再生や交通アクセスの向上等が進むことにより、利便性が高く魅力的な中心市街地が形成される。

◎ 高齢者の健康づくりや防災・防犯等を推進することにより、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようになる。



■ 数値目標

目標指標	実　績	目　標
「御所市は住みやすいまち」だと思う市民の割合	51.1%（R1年度）	60.0%（R6年度）

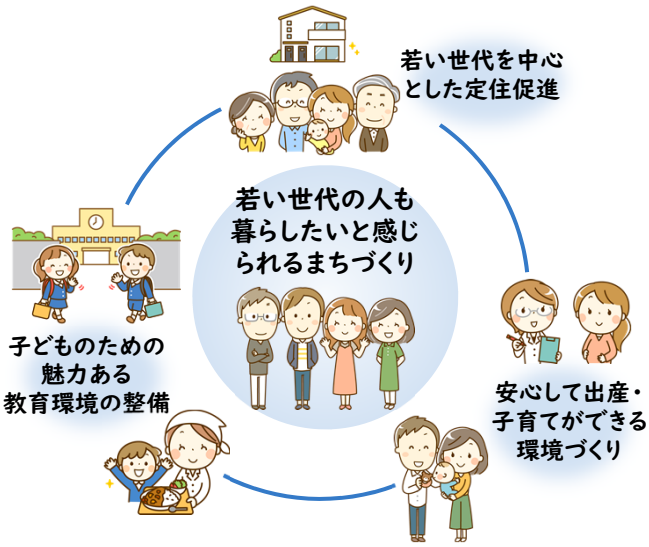
基本目標 2　若い世代の人も暮らしたいと感じられるまちづくり

■ シナリオ

◎ 定住を支援することで、住民が暮らし続けやすくなる。また、UIJターン者が転入を決める際のひとつの材料となる。

◎ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てることができるようになることで、子育て世代が集まる。

◎ 教育環境が向上することにより、子どもたちの主体的に学ぶ姿勢が育まれ、学力向上等につながるとともに御所市のイメージが高まり、教育熱心な子育て世代が集まる。



■ 数値目標

目標指標	実　績	目　標
合計特殊出生率	1.13※（H20～H24年）	1.3（H30～R4年）
0～14歳の子どもの転出超過数	11人（H30年度）	0人（R6年度）
15～39歳の若者の転出超過数	125人（H30年度）	60人（R6年度）

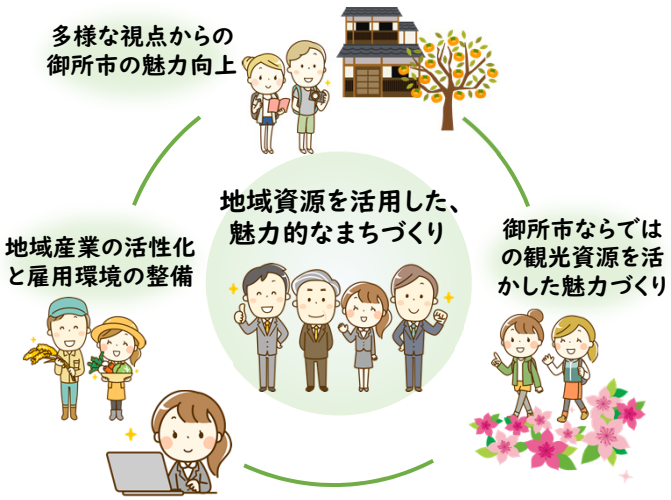
※合計特殊出生率のH25～H29年の数値が現在未公表のため、H20～H24年の実績値を掲載。

基本目標 3　地域資源を活用した、魅力的なまちづくり

■ シナリオ

◎ 御所まちや葛城山等の地域資源を活かした観光振興により、インバウンドも含め市内外から多くの人々が訪れることで、まちに雇用と活気を生み出す。

◎ 企業誘致等による雇用の創出や基盤産業である農業の振興が進むことにより、地場産業に活気が生まれる。



■ 数値目標

目標指標	実　績	目　標
年間商品販売額	412億円（H28年度）	412億円（R6年度）
付加価値額※	204億円（H30年度）	213億円（R6年度）

※付加価値額：事業所の生産活動において、新たに付け加えられた価値

10 施策体系

基本目標	数値目標	施策パッケージ
基本目標1 みんなが安心して 暮らし続けられるまちづくり	◎「御所市は住みやすいまち」 だと思う市民の割合 （R1実績：51.1％ ➡ R6目標：60％）	1-1 市の玄関口からひろがる にぎわいの創出
		1-2 生涯現役社会の実現
		1-3 自然環境に優しい まちづくり
		1-4 防災・防犯の強化
		1-5 住民の利便性向上
基本目標2 若い世代の人も暮らしたい と感じられるまちづくり	◎合計特殊出生率 （H20～H24実績：1.13 ➡ H30～R4目標：1.3） ◎0～14歳の子どもの転出超過数 （H30実績：11人 ➡ R6目標：0人） ◎15～39歳の若者の転出超過数 （H30実績：125人 ➡ R6目標：60人）	2-1 若い世代を中心とした 定住促進
		2-2 安心して出産・子育てが できる環境づくり
		2-3 子どものための魅力ある 教育環境の整備
基本目標3 地域資源を活用した、 魅力的なまちづくり	◎年間商品販売額 （H28実績：412億円 ➡ R6目標：412億円） ◎付加価値額 （H30実績：204億円 ➡ R6目標：213億円）	3-1 多様な視点からの 御所市の魅力向上
		3-2 御所市ならではの観光 資源を活かした魅力づくり
		3-3 地域産業の活性化 と雇用環境の整備

※数値目標の実績値は公表されている最新データを掲載

施策	SDGsとの関係
1-1-1:近鉄・JR御所駅及びその周辺の総合的な整備	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
1-1-2:駅周辺のにぎわい創出	
1-2-1:予防を重視した健康づくり支援	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに
1-2-2:高齢者が生き生きと暮らせる環境の整備	
1-2-3:スポーツや趣味の活動等生涯学習の促進	
1-3-1:環境に配慮したモビリティの導入	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
1-3-2:環境に配慮した公共施設等の整備・運営	
1-3-3:食品ロスの削減	
1-4-1:防災の強化	11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に
1-4-2:防犯や見守りの強化	
1-4-3:交通安全教室の推進	
1-5-1:公共交通アクセスの向上	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
1-5-2:ごみ出し(不燃ごみ)の負担軽減	
1-5-3:行政事務への先進的技術の導入	
2-1-1:住宅補助制度の整備	11 住み続けられるまちづくりを
2-2-1:子育てにかかる経済的負担の軽減	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう
2-2-2:出産できる環境の整備	
2-2-3:子育て支援体制の整備・充実	
2-3-1:御所市の特色を活かした教育	2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう
2-3-2:多様な学びの場の提供	
3-1-1:スポーツを通じた他都市との交流創出	6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで目標を達成しよう
3-1-2:シティプロモーションの推進	
3-1-3:歴史・文化資源を活用した魅力づくり	
3-1-4:食を活用した魅力づくり	
3-1-5:空き家の有効活用	
3-2-1:インバウンドの促進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさも守ろう
3-2-2:健康志向の観光客向けの観光基盤整備	
3-2-3:葛城山における魅力づくりの推進	
3-2-4:観光地を巡る仕掛けづくり	
3-3-1:地場産業の活性化	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 15 陸の豊かさも守ろう
3-3-2:耕作放棄地や担い手不足を解消する農業の振興	
3-3-3:新規事業者の誘致	
3-3-4:誰もが働きやすい環境づくり	

御所市第２次まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行：御所市　／　編集：総合政策部企画政策課
〒６３９-２２９８　　奈良県御所市１番地の３
TEL　０７４５-６２-３００１（代表）
http://www.city.gose.nara.jp